

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における 士別市の体力等の分析

【令和6年4月23日 士別市教育委員会（学校教育課）】

令和5年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、士別市では令和5年4月から7月までの期間で、市内全ての小・中学校において実施しました。

このたび、スポーツ庁および北海道教育委員会から調査結果概要の資料提供を受け、今後の児童生徒の体力・運動能力等の向上・改善に役立てるため、士別市教育委員会として結果分析の概要を次のようにまとめました。

1 調査の目的

士別市教育委員会は、本調査の目的からその意義を認め、定められた方法にしたがって調査を実施しました。国が示した本調査の目的は、次のとおりです。

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査 報告書」より引用

2 本調査実施に関する士別市教育委員会の基本的な考え方

士別市教育委員会は、本調査の目的や意義のもと、これまでの経過も踏まえ、定められた方法にしたがって、対象児童生徒の在籍する市内全ての小・中学校で調査を実施しました。今回の調査に関わっては、次の考え方をもとに結果分析等について公表します。

- (1) 本調査によって測定できるのは、体力・運動能力における特定の分野であり、学校での教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえ、学校の序列化や過度な競争につながらないように十分配慮した上で、士別市全体として、実技の平均値、質問紙調査を含めた概略的な結果を公表します。

(2) 本市教育委員会および学校は、本調査結果をもとに、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣の状況、課題などを把握・検証し、教育活動の充実・発展のために積極的に活用します。

3 調査の実施期間

令和5（2023）年4月から7月末までの期間で実施

4 調査対象

- (1) 小学校（6校） 5年生
- (2) 中学校（4校） 2年生

5 調査内容

(1) 実技に関する調査（小・中学校で各8種目）

【小学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（持久走選択可）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(2) 質問紙調査

- ① 児童生徒に対する運動習慣、生活習慣等に関する調査
- ② 学校に対する児童生徒の体力・運動能力等の向上に係る取組に関する調査

6 本市の実施状況（児童生徒数は参加種目の最多人数）

小学校			中学校			総数		
学校	児童数（人）		学校	生徒数（人）		学校	児童生徒数（人）	
6校	男子	44	4校	男子	67	10校	男子	111
	女子	41		女子	49		女子	90
	合計	85		合計	116		合計	201

7 実技に関する調査の結果（数値は平均値）

*全国平均値を上回る値は青色で、下回る値は赤色で示しました。「R4土別」は令和4年度に実施された前回の調査結果で、参考値として示したものです。その際、令和4年度の全国平均値を上回る値は青色で、下回る値は赤色で示しました。

*各数値はスポーツ庁から提供されたデータにより作成しています。

(1)握力 (kg)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	16.13	16.01	29.02	23.15
北海道	17.00	16.85	29.57	23.03
士別市	16.82	16.54	32.00	25.55
R4士別	17.80	16.71	30.65	24.19

(2)上体起こし (回)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	19.00	18.05	25.82	21.62
北海道	18.97	18.05	25.17	20.67
士別市	21.91	16.38	27.97	22.90
R4士別	19.66	18.57	23.35	20.42

(3)長座体前屈 (cm)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	33.98	38.45	44.16	46.27
北海道	34.17	38.60	42.38	45.02
士別市	34.18	39.53	46.54	46.33
R4士別	31.86	38.12	41.98	45.26

(4)反復横とび (点)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	40.60	38.73	51.22	45.65
北海道	41.83	39.96	49.87	44.28
士別市	42.05	39.28	53.97	43.94
R4士別	39.78	40.72	49.45	45.83

(5-1)20mシャトルラン (回)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	46.92	36.80	78.07	50.70
北海道	45.76	36.12	74.26	46.73
士別市	53.55	39.28	77.63	48.28
R4士別	46.75	44.78	64.82	45.26

(5-2)持久走 (秒)

	中学男子	中学女子
全 国	409.02	306.26
北海道	426.84	328.86
士別市	420.26	372.05
R4士別	/	/

中学校の「20mシャトルラン」と「持久走」は各学校でどちらかを選択します。

※小学生に持久走の選択はありません。士別市でR4年度に持久走を選択した中学校はありませんでした。

(6)50m走 (タイム：秒)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	9.48	9.71	8.01	8.95
北海道	9.75	9.92	8.20	9.15
士別市	9.42	9.84	8.08	9.14
R4士別	10.04	10.24	8.16	8.97

(7)立ち幅とび (cm)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	151.13	144.29	197.02	166.34
北海道	152.37	145.56	194.57	162.04
士別市	154.02	143.29	197.17	159.55
R4士別	157.56	151.72	184.42	166.40

(8)ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	20.52	13.22	20.40	12.43
北海道	21.06	13.91	20.08	12.17
士別市	23.73	13.90	21.06	11.86
R4士別	21.64	14.21	18.40	11.49

※体力合計点 (点)

※ 8 種目の記録を点数化 (80点満点)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	52.59	54.28	41.32	47.22
北海道	52.81	54.71	40.00	45.06
士別市	54.71	54.76	44.56	45.38
R4士別	52.37	55.66	37.17	45.42

【T得点について】

T得点とは回数やm、秒などの単位等が異なる実技種目の調査結果を全国平均値を「50」として、それぞれの種目を比較するために数値化したものです。50を超える場合は全国平均値を上回り、超えない場合は下回ることを表しています。

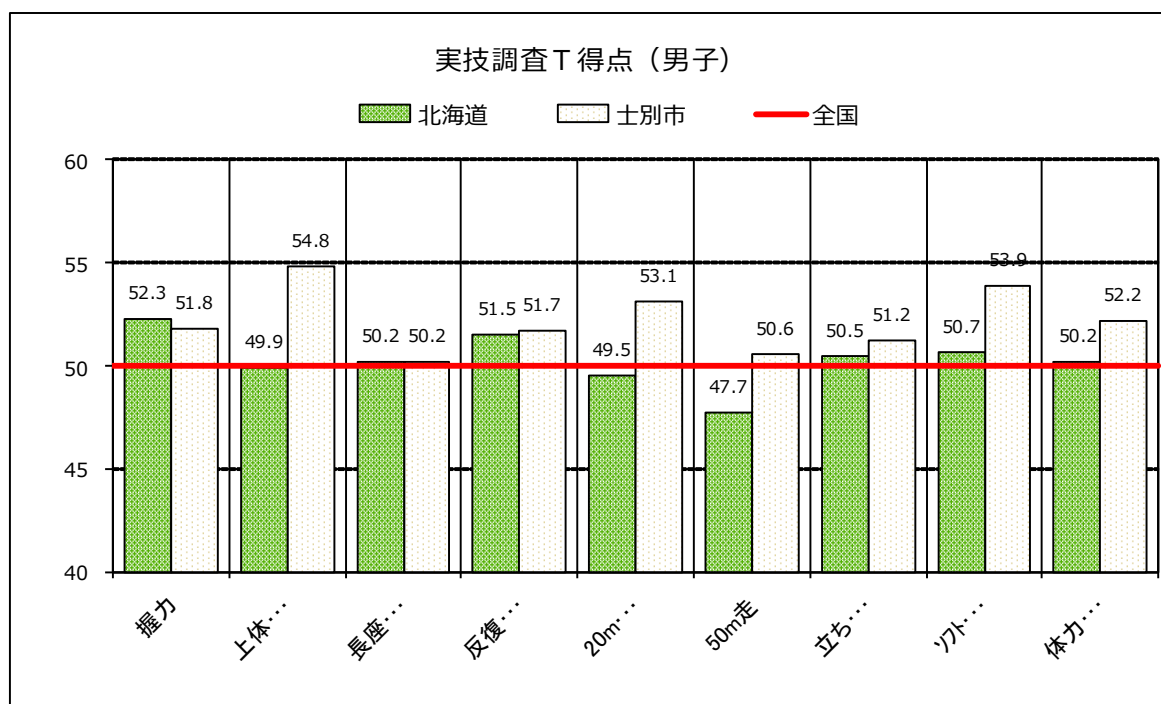
8 士別市の実技に関する調査結果の概要

【小学5年生】

小学男子では、8種目全てで全国平均値を上回るとともに、「体力合計点」において全国平均値を上回りました。

下に示した小学男子の「実技調査T得点」のグラフで、各種目の全国平均値50（赤線）からの差を確認することができます。北海道平均値と士別市の関係については、棒グラフにおいて比較でき、「握力」のみ北海道平均値が士別市を上回り、「長座体前屈」は等しくなっています。

令和5年度 小学5年男子のT得点

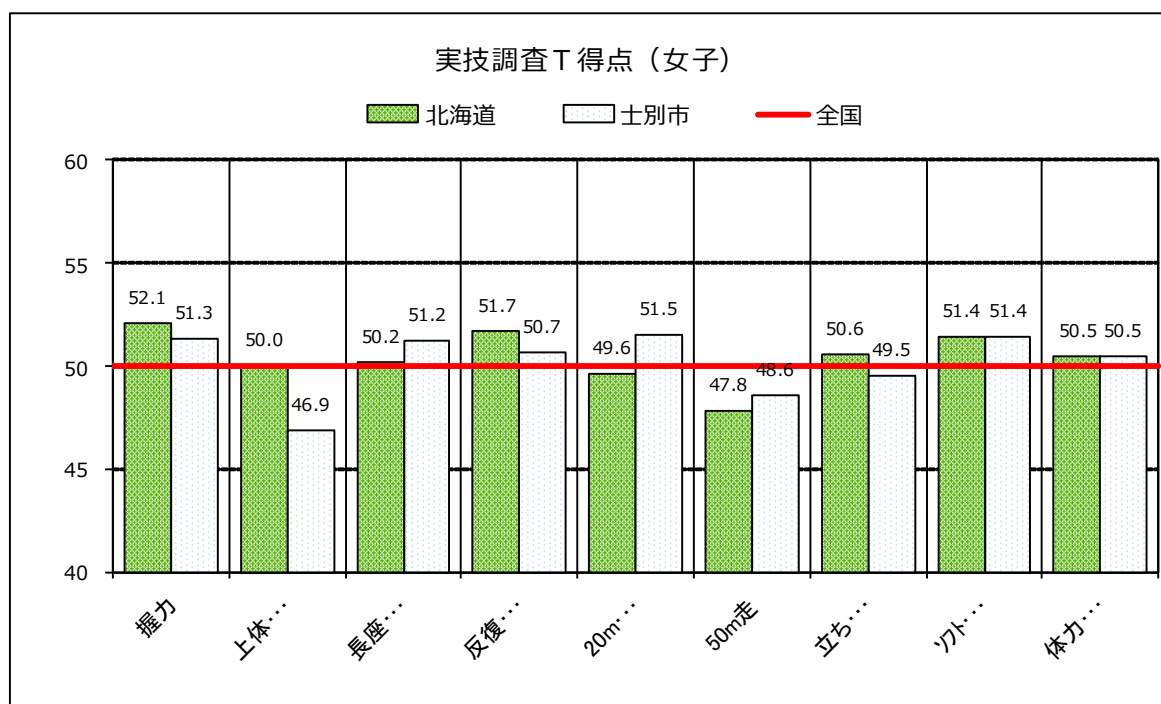


小学女子では、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」の5種目で全国平均値を上回るとともに、「体力合計点」において全国平均値をやや上回りました。

小学女子の「実技調査T得点」のグラフから、各種目の全国平均値50（赤線）からの差を確認することができます。「上体起こし」は他の種目に比べ差が大きいことがわかります。北海道平均値と士別市の関係については、「長座体前屈」「20mシャトルラン」

「50m走」において土別市が上回っています。「体力合計点」については土別市と北海道平均値は同じとなっています。

令和5年度 小学5年女子のT得点



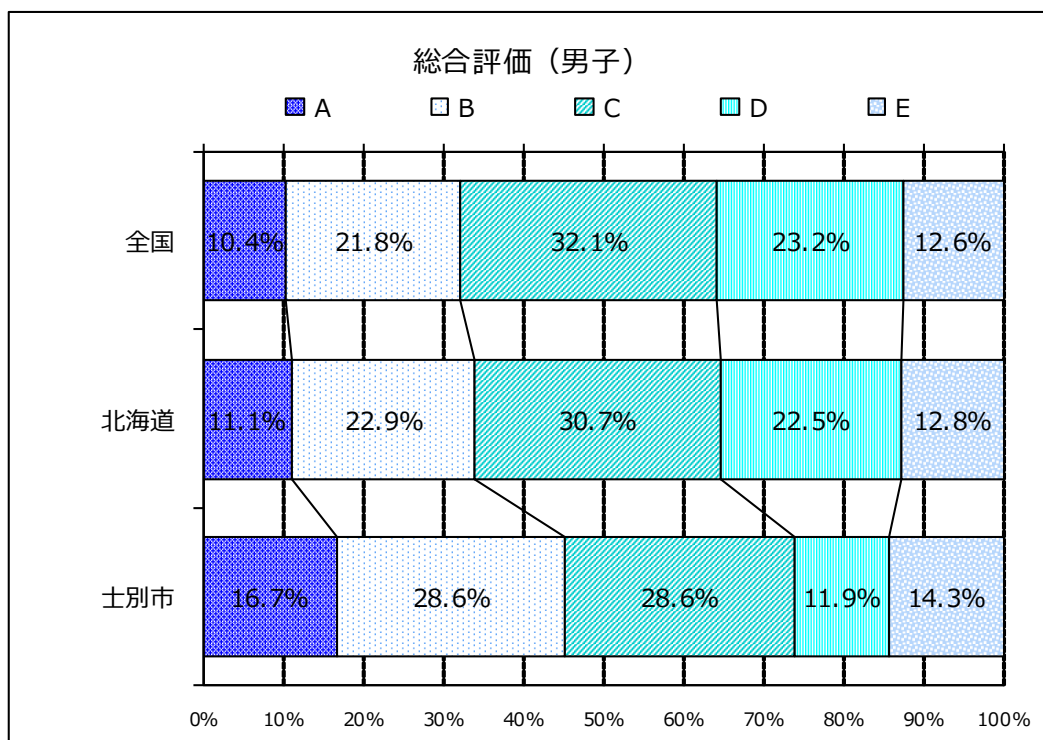
【総合評価の基準（小学校・中学校）について】

総合評価は、各種目の記録を10段階に分け、10点満点とし、その合計8種目80点満点で、A～Eの5段階で評価するものです。

段階	小学校（10歳）	中学校（13歳）
A	65以上	57以上
B	58～64	47～56
C	50～57	37～46
D	42～49	27～36
E	41以下	26以下

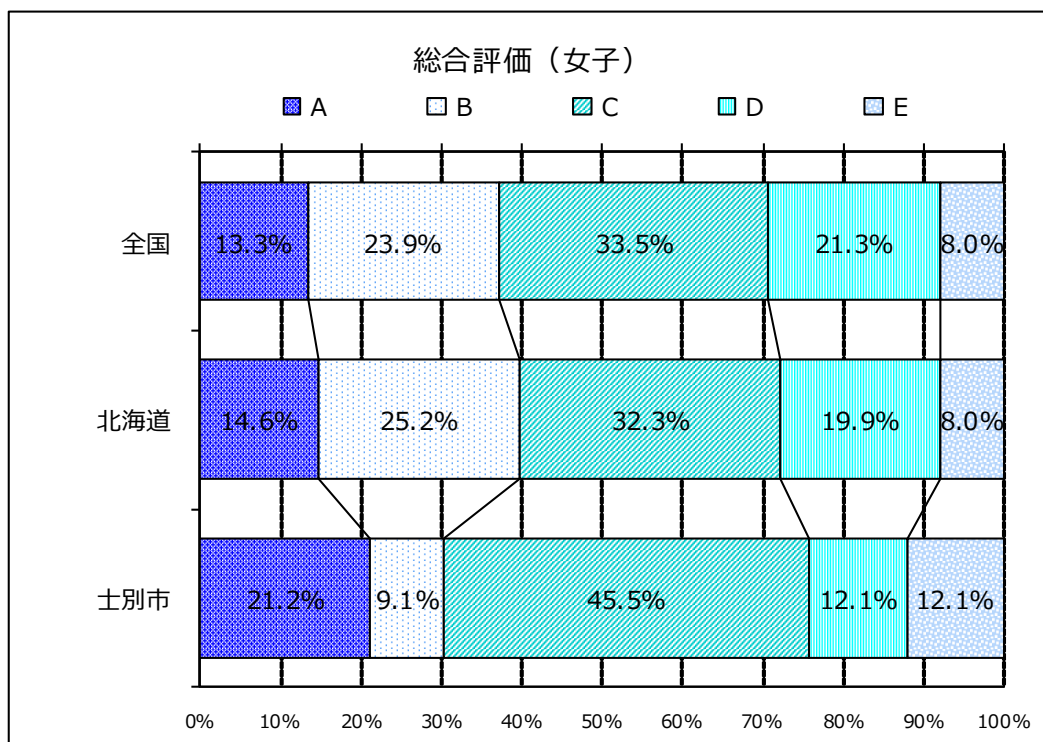
小学男子の総合評価では、全国・北海道に比較してAの割合が多く、ABCを合わせた割合は7割を超え、DEの段階が少ない状況です。こうしたことから体力・運動能力の下位層が少なく、上位層から中間層までが多い傾向が見られます。

令和5年度 小学5年男子の総合評価



小学女子の総合評価では、全国・北海道に比較してAの割合が多いものの、Bが少なくABを合わせた割合は全国・北海道の割合よりも少ない状況です。またC段階が半数近くを占め、DEの段階の児童が少なくなっています。こうしたことから体力・運動能力の上位層下位層が少なく、中間層が多い傾向が見られます。

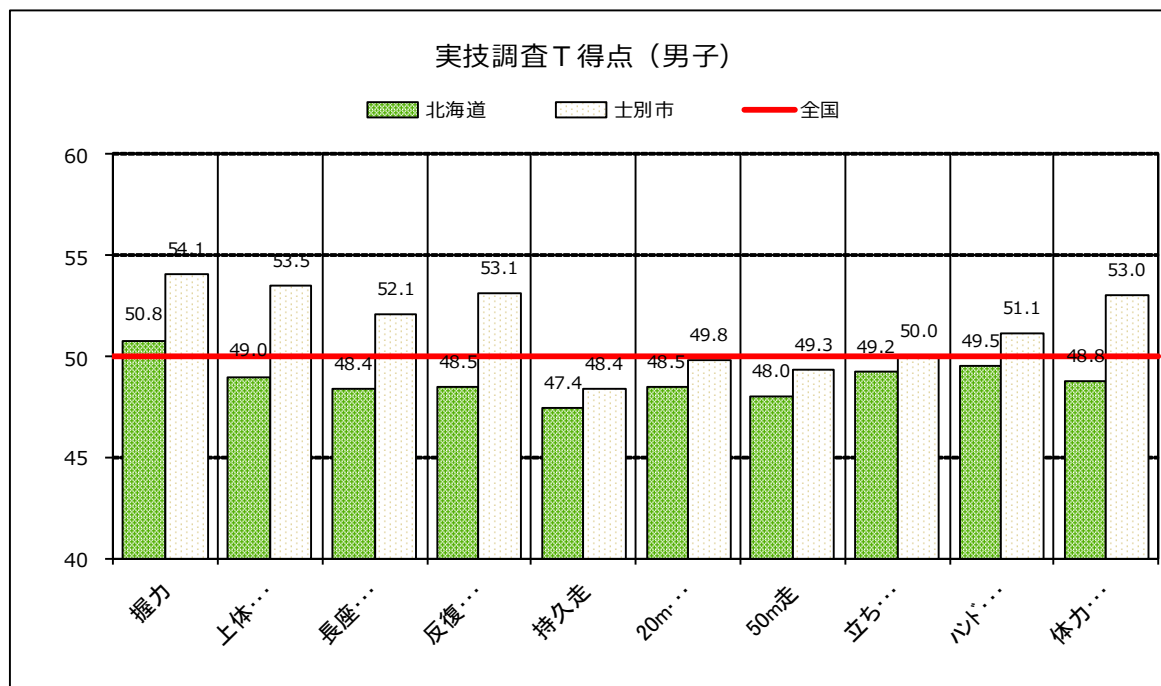
令和5年度 小学5年女子の総合評価



【中学2年生】

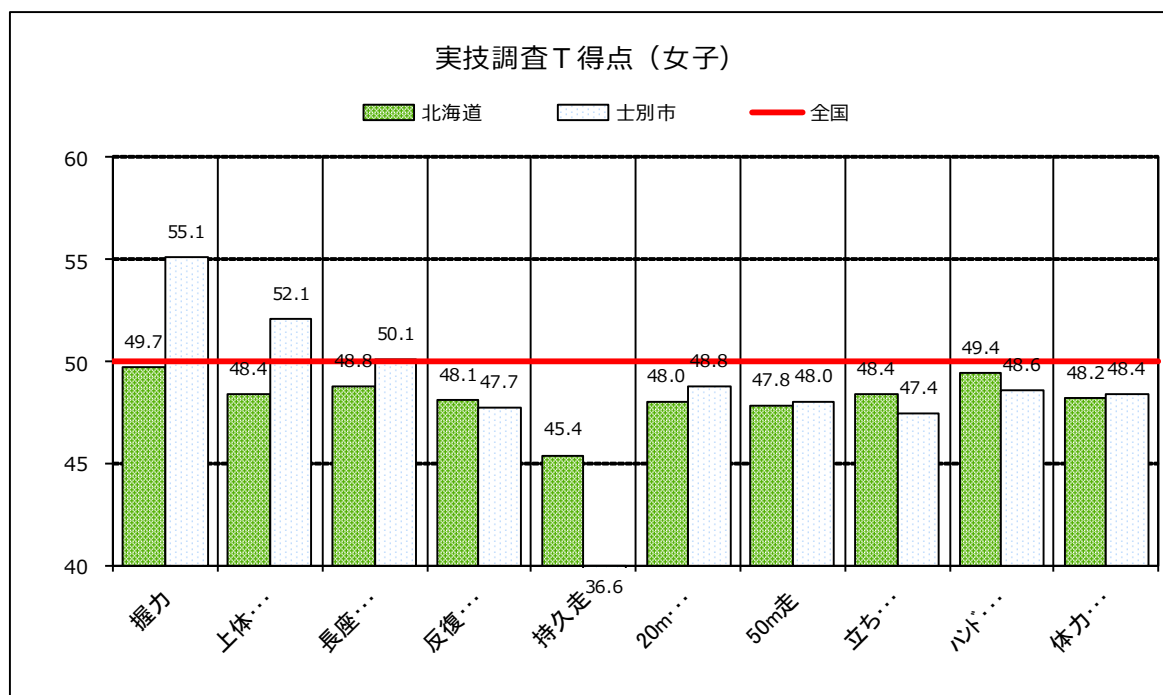
中学男子では、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「ハンドボール投げ」および「体力合計点」で全国平均値を上回りました。「立ち幅跳び」は全国平均値と同じで、「持久走・20mシャトルラン」（各学校が選択）「50m走」においては全国平均値を下回りました。北海道平均値と士別市の関係については棒グラフから、全種目および「体力合計点」において士別市が北海道平均値を上回っていることがわかります。

令和5年度 中学2年男子のT得点



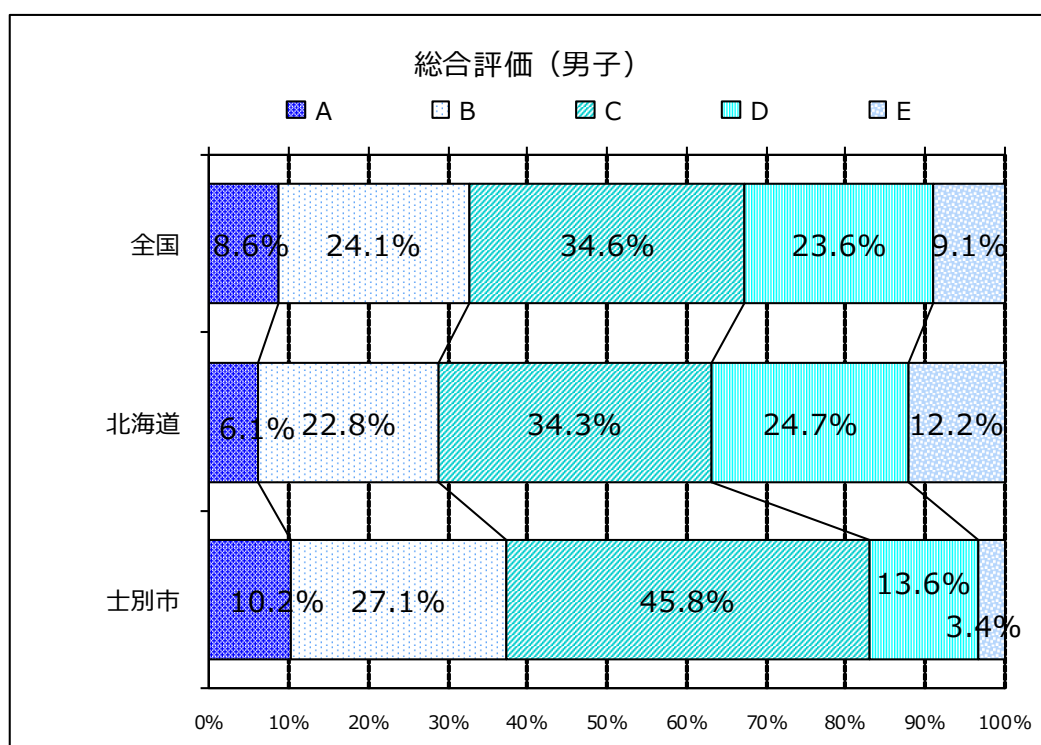
中学女子では、「握力」「上体起こし」で全国平均値を上回り、「長座体前屈」がほぼ同値でしたが、他の種目は全国平均値を下回りました。北海道平均値と士別市の関係については棒グラフから「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」および「体力合計点」において士別市が北海道平均値を上回っていることがわかります。

令和5年度 中学2年女子のT得点



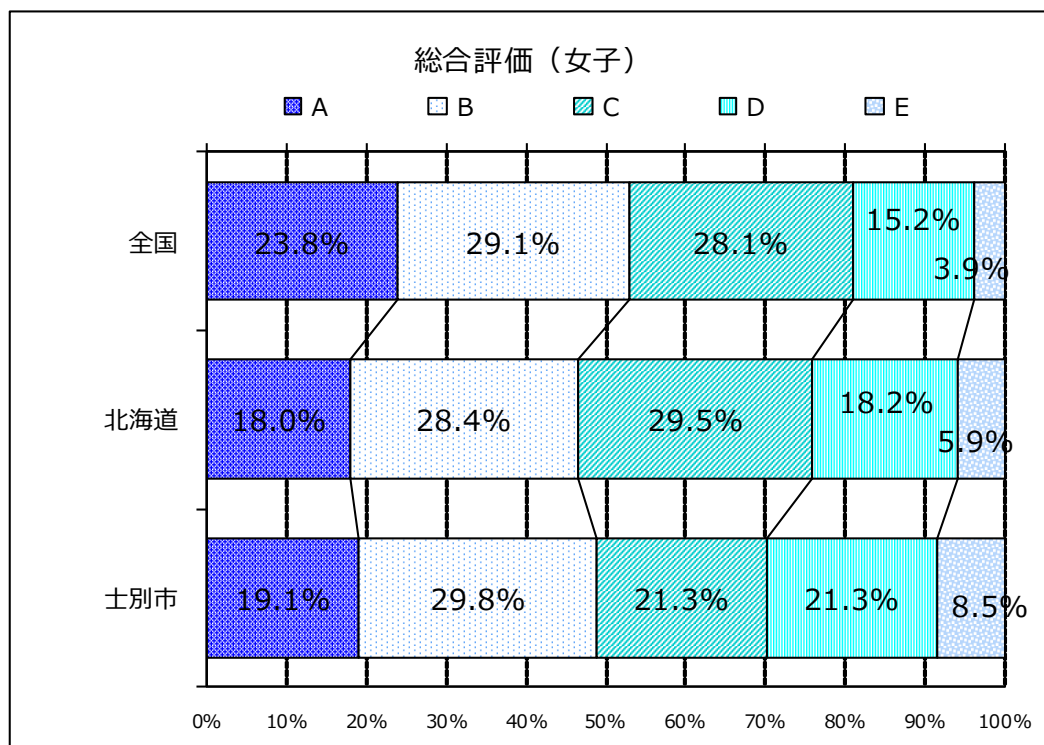
中学男子の総合評価は、AとBを合わせた割合が全国・北海道よりも多く、ABCを合わせると全体の80%以上を占めています。またDとEを合わせた割合は全国・北海道に比較して少なく、Cについては全体のほぼ半数、Eについては全体の3.4%と非常に少ない状況です。この結果から上位から中間層が大半を占め、下位層が少ないことがわかります。

令和5年度 中学2年男子の総合評価



中学女子の総合評価は、AとBを合わせた割合が全体の半数近くを占め、全国・北海道と同様の傾向にあります。Cは少なく、DとEが占める割合が増えています。このことから中間層が少なく上位層と下位層が多く、二極化の傾向があることがわかります。

令和5年度 中学2年女子の総合評価



9 体格と肥満に関する調査

(1) 小学校

小学生の体格に関する調査では、男女ともに身長では全国平均値・北海道平均値を上回っています。体重は、男女ともに北海道平均値を下回っていますが、全国平均値を上回っています。

肥満傾向児の出現率では、小学校は男女ともに全国平均値・北海道平均値を下回るとともに、正常の範囲内が多い状況にあります。

【小学5年生の体格平均値】

		体 格	
		身長 (cm)	体重 (kg)
全 国	男子	139.61	35.35
北海道		140.03	37.03
士別市		140.34	36.78
全 国	女子	141.26	35.24
北海道		141.92	36.57
士別市		142.95	35.97

【小学5年生の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率】

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)		
		肥満	正常	痩身
全 国	男子	13.7%	83.5%	2.8%
北海道		20.4%	77.2%	2.3%
士別市		11.1%	84.4%	0%
全 国	女子	9.8%	87.4%	2.8%
北海道		14.0%	83.1%	3.0%
士別市		9.7%	87.8%	2.4%

(2)中学校

中学生の体格に関する調査では、男子が身長、体重ともに全国平均値・北海道平均値を上回っています。女子は身長で全国平均値・北海道平均値を下回り、体重は全国平均値・北海道平均値を上回りました。

肥満傾向児の出現率では、全国平均値・北海道平均値に比べ、男女ともに肥満の出現率が高く、正常、痩身の出現率が低くなっています。

【中学2年生の体格平均値】

		体 格	
		身長 (cm)	体重 (kg)
全 国	男子	161.17	50.22
北海道		162.22	52.29
士別市		162.31	53.42
全 国	女子	154.94	46.87
北海道		155.13	47.44
士別市		154.24	50.04

【中学2年生の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率】

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)		
		肥満	正常	痩身
全 国	男子	10.6%	86.2%	3.2%
北海道		14.6%	82.3%	3.1%
士別市		18.0%	80.6%	1.5%
全 国	女子	7.0%	88.9%	4.0%
北海道		9.1%	87.0%	4.0%
士別市		18.0%	80.0%	2.0%

10 士別市の運動習慣、生活習慣等に関する調査結果の概要

(1) 児童生徒に対する質問紙調査の概要

- 運動に対する意識等（4項目）
- 生活習慣に対する意識等（4項目）
- 体育・保健体育の授業に対する意識（9項目）

士別市教育委員会では、上記調査項目の中から10項目を取り上げて全国・北海道平均値と本市の児童生徒の回答を比較しました。また各数値についてはスポーツ庁から配布されたデータを使用しています。

- ①「運動やスポーツをすることが好き」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女いずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては全国平均値を下回り、特に女子においては小中ともに割合が4割を切っている状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	72.1%	54.5%	63.4%	43.1%
北海道	74.2%	56.9%	67.1%	45.3%
士別市	59.1%	36.6%	61.2%	38.0%

- ②「運動やスポーツは大切」と回答した北海道の児童生徒の割合については、小中男女いずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては男子は小中ともに全国平均値を超えているが、女子は小中ともに低く、5割を切っている状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	71.2%	59.3%	66.6%	49.0%
北海道	75.9%	66.1%	69.2%	50.7%
士別市	79.5%	48.8%	68.7%	46.0%

- ③「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女がいずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては小中男子においては全国平均値よりはやや低く、中学女子は全国平均値を超えていますが、小学女子はかなり低い状況となっています。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	66.0%	54.0%	59.8%	41.9%
北海道	67.6%	55.9%	61.7%	42.4%
士別市	63.6%	34.1%	58.2%	53.1%

- ④地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含みます）に入っている小学生の割合は、士別市においては男子が全国・北海道平均値を超えています、女子は全国・北海道平均値を下回っている状況です。

	小学男子	小学女子
全 国	65.6%	49.2%
北海道	60.7%	45.3%
士別市	77.3%	42.5%

- ※中学生へは「学校の運動部」「学校の文化部」「地域のスポーツクラブ」への所属状況を質問しています。士別市は男女とも「学校の運動部」への所属は全国・北海道平均値を下回っていますが、女子の「学校の文化部」は全国・北海道平均値を上回っています。また「地域のスポーツクラブ」への所属状況は男女ともに全国・北海道平均値を上回っています。

		学校の運動部	学校の文化部	地域のスポーツクラブ	所属していない
中学男子	全 国	69.8%	9.1%	25.3%	10.3%
	北海道	62.7%	9.2%	19.6%	17.1%
	士別市	56.1%	7.6%	34.8%	18.2%
中学女子	全 国	54.7%	27.8%	15.5%	13.7%
	北海道	46.7%	28.7%	14.0%	19.0%
	士別市	40.0%	34.0%	20.0%	18.0%

- ⑤「平日（月～金曜日）に学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間以上」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女ともに全国平均値よりも高く、士別市においても、小学男子を除いて全国平均値よりも高い状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	63.4%	56.7%	74.6%	72.8%
北海道	70.0%	65.2%	79.7%	78.4%
士別市	62.8%	76.9%	79.1%	81.7%

- ⑥「体育（保健体育）の授業は楽しい」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女ともに全国平均値よりも高いなか、士別市においては小中男子は全国平均値よりも高く、小学女子は低く、中学女子は同程度の状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	74.7%	59.0%	53.6%	38.6%
北海道	75.2%	59.5%	55.3%	39.5%
士別市	75.0%	41.5%	56.7%	38.8%

- ⑦「体育（保健体育）の授業で進んで学習に参加している」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女ともに全国平均値よりやや低いなか、士別市においては、小学男子のみ全国平均値を上回り、他は下回っています。特に女子においては「進んで学習に参加している」と回答したのは小中ともに全体の1/4程度となっています。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	65.5%	56.0%	46.9%	38.4%
北海道	65.0%	53.5%	45.3%	35.4%
士別市	72.7%	26.8%	34.3%	24.5%

- ⑧体育（保健体育）の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した北海道の児童生徒の割合は、中学男子で同程度、他はいずれも全国平均値よりやや低く、士別市においては小学男子を除いて、全国・北海道平均値を上回っています。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	36.3%	35.1%	35.6%	33.7%
北海道	35.3%	34.9%	35.6%	33.0%
士別市	32.6%	36.6%	35.8%	42.9%

- ⑨体育（保健体育）の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中男女ともに全国平均値を上回り、士別市においては全国・北海道平均値を上回っています。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	20.8%	18.5%	18.8%	14.3%
北海道	21.3%	19.5%	21.2%	17.6%
士別市	27.9%	29.3%	31.3%	26.5%

- ⑩「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小学男女および中学男子において全国平均値を上回りました。士別市においては小学女子のみが全国・北海道平均値を上回っています。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	76.9%	73.9%	71.4%	66.8%
北海道	78.3%	75.9%	72.4%	65.8%
士別市	68.2%	90.2%	67.7%	63.3%

(2)各小・中学校に対する質問紙調査の概要

【小・中学校共通（18項目）】

- 学校の目標設定について（2項目）
- 体力向上の取組・意識等について（3項目）
- 調査結果の活用について（1項目）
- 体育・保健体育の授業について（10項目）
- 新体力テストの実施状況（1項目）
- 体育領域と保健領域の関連について（1項目）

【小学校のみ（2項目）】

- 体育の授業における教科担任制について（1項目）
- 体育専科教員の配置状況（1項目）

士別市教育委員会では、上記調査項目の中から11項目を取り上げて全国・北海道平均値と本市の小・中学校の回答をと比較しました。（士別市は小学校6校、中学校4校のため士別市教育委員会では参考値と押さえています。）

- ①北海道の「児童（生徒）の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定している学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高くなっています。士別市においては全ての学校で目標を設定しています。

	小学校	中学校
全 国	79.3%	71.5%
北海道	93.8%	88.8%
士別市	100.0%	100.0%

- ②北海道の「体育（保健体育）の授業以外で全ての児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高い結果となりました。士別市においては10校中9校の学校で取組を行っています。

	小学校	中学校
全 国	79.6%	43.6%
北海道	91.1%	73.9%
士別市	100.0%	75.0%

- ③北海道の「運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童（生徒）向けの取組、または能力差に応じた取組を行っている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値よりも高いところであり、士別市においては10校中8校で取組を行っています。

	小学校	中学校
全 国	50.7%	66.5%
北海道	73.3%	74.3%
士別市	83.3%	75.0%

- ④北海道の前年度の「調査結果を踏まえた取組を行っている学校」の割合は小・中学校いずれも全国平均値よりも高いところであり、士別市においては10校中9校で取組を行っています。

	小学校	中学校
全 国	55.7%	53.7%
北海道	85.9%	72.1%
士別市	83.3%	100.0%

- ⑤北海道の「授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童（生徒）に示す活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値よりも高いところであり、士別市においは全ての学校で取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	46.4%	67.0%
北海道	66.0%	75.0%
士別市	100.0%	100.0%

- ⑥北海道の「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高いなか、士別市においては小学校6校中4校で、中学校4校全てで取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	33.8%	53.4%
北海道	52.2%	59.7%
士別市	66.7%	100.0%

- ⑦北海道の「授業で児童（生徒）同士が助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高いなか、士別市においては小学校6校中3校で、中学校4校全てで取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	39.2%	47.8%
北海道	47.2%	52.5%
士別市	50.0%	100.0%

- ⑧北海道の「授業で、全学年において児童（生徒）同士で話し合う活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高い状況となりました。士別市においては10校中9校で取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	60.3%	88.9%
北海道	77.8%	91.0%
士別市	83.3%	100.0%

- ⑨北海道の「授業でICTを週に1時間以上活用している学校の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高い状況となりました。士別市においては小学校で6校中2校および中学校全てで週に1時間以上活用している状況です。

	小学校	中学校
全 国	34.9%	49.6%
北海道	52.3%	72.1%
士別市	33.3%	100.0%

- ⑩北海道の「健康三原則（運動、食事、休養および睡眠）の大切さを適宜伝えている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高い状況となりました。士別市においては全ての学校で適宜伝えています。

	小学校	中学校
全 国	92.7%	96.9%
北海道	98.8%	98.2%
士別市	100.0%	100.0%

- ⑪「新体力テストを調査対象の学年以外でも実施している学校」の割合は、次に示すとおりです。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6
全 国	76.1%	78.2%	83.8%	89.0%	99.0%	90.3%
北海道	87.8%	89.2%	90.7%	91.9%	97.4%	92.8%
士別市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	中1	中2	中3
全 国	95.4%	99.2%	95.7%
北海道	92.2%	98.8%	91.8%
士別市	100.0%	100.0%	100.0%

士別市では小1から中3まで全ての学年で新体力テストを実施しています。

11 まとめと課題

士別市では、全ての小・中学校で児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定するとともに、体育（保健体育）の学習においても、「授業の冒頭で、その授業の目標を設定」「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る」という活動が定着しています。今後もこうした基本的な取組を継続することが大切です。

教育委員会は、これまで地域学校協働活動として「水泳・スキー授業にサポーターを派遣した学校体育への支援」や「少年団活動や部活動への支援（地域移行への検討を含む）」、「本市に合宿している実業団の協力による陸上教室」などを実施してきており、こうした取組が児童生徒の運動能力の向上に結びついているものと押さえています。

本年度は総合結果である体力合計点は、小学男女および中学男子で全国平均値を超えましたが、中学女子は超えることができませんでした。児童生徒質問紙からは、運動能力の向上には「運動が楽しいと感じること」や「体育の授業へ積極的に参加すること」が欠かせないことが読み取れます。各学校は今後も「助け合ったり、教え合ったりする学習」や「タブレットなどのICTを使って学習すること」を効果的に取り入れた授業改善を進めることが大切です。

本年度の体格と肥満における調査では、小学5年生においては、男女ともに全国平均値に比べ正常の割合が高く、肥満傾向が少ないのに対して、中学2年生では男女ともに正常の割合が減り、肥満傾向が増えています。

12 今後の対応

各学校においては、これまで実施してきた様々な体力・運動能力の向上策を継続することを軸に、本市の傾向や分析を参考とし、自校の本年度調査結果の傾向と重ね合わせ、新たな目標の設定や実践へとサイクル化し、改善に生かすことが必要です。

一方、教育委員会としては、これまでの学校支援を継続・発展させるとともに、児童生徒の運動の日常化を図るため、家庭との連携を強化することが必要と考えます。また、「休日の地域部活動への移行」を見据え、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域での学校支援の取組を進めて参ります。次頁に、具体策の一例を示します。

- (1) 体育エキスパート教諭（士小）や体育スペシャリスト教諭（士中）を活用し、体育（保健体育）の授業において、「楽しい、できる（わかる）学習」や「主体的・対話的で深い学び」への授業改善を実践します。
- (2) 外部人材を活用した学校支援事業（水泳・スキー・部活動等）や実業団の協力による「陸上教室」を継続的に実施します。
- (3) 中学校部活動においては、合同チームや拠点校方式など、希望する競技・種目に取り組むことのできる機会づくりに今後も努めるとともに、今後の部活動のあり方を見据え、スポーツ協会をはじめ、総合型地域スポーツクラブや各競技団体と連携を図り、小中学生には高校への接続（連続性）も意識しながら、青少年としての今後のスポーツ活動のあり方を検討します。
- (4) 本市の「健康・スポーツ都市宣言」も踏まえ、本市における各種スポーツイベントへの家族ぐるみでの参加推進および日常的なスポーツ活動や運動習慣の啓発のもとで、市民皆スポーツの実現を目指します。
- (5) 本市における「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析の概略を本市のホームページ上に公表し、各種取組を進めるなかで、体力・運動能力の向上や日常の運動習慣の定着を図ります。

【参考資料】

スポーツ庁

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922_00007.html



北海道教育委員会

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果のポイント

<https://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/174967.html>



*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
